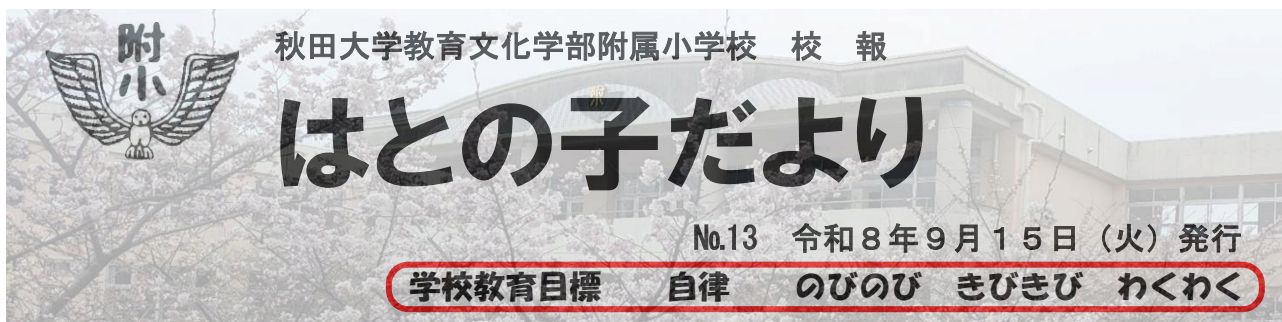




「魔法の言葉」が響き渡る学校

今年度の「公開研究協議会Ⅰ」が、9月18日(金)に開催されます。県内外からご参会いただく皆様と、子どもの姿を通して本校の研究の成果を共有し深めていく機会になればと思っております。当日は、保護者の皆様にも運営等でご協力をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、休み時間や授業中に子どもの様子を見てみると、ふとした瞬間の言葉のやり取りが気になることがあります。言葉には、人の心を傷つける力もあれば、傷ついた心を温かく包み込む力もあります。だからこそ、本校の教職員は、子どもと共に「魔法の言葉」が行き交う学校をつくっていきたいと考えています。

「魔法の言葉」とは、決して特別なものではありません。

- ・ 助けてもらったときの「ありがとう」
- ・ 迷惑をかけてしまったときや失敗してしまったときの「ごめんなさい」
- ・ 誰かの支えに感謝する「おかげさま」

こうした感謝や謙虚さを示す一言を素直に口にできる心こそが、互いを尊重し合う関係の第一歩です。これらの言葉が学校中に響き渡るとき、子どもの心には相手を思いやる気持ちが自然と育まれていきます。ご家庭におかれましても、日頃のちょっとした場面でこうした温かい言葉を交わし、子どもの良き手本となっていただければ幸いです。学校と家庭が手を取り合い、子どもの優しい心と豊かな言葉遣いを育てていくことができればと思います。

毎朝のワクワクから深まる食への関心

毎朝、はとの子ホール前の「今日の献立」コーナーには、ワクワクして足を止める子どもの姿が見られます。「今日の給食は何か?」「これ、好きなメニューだ!」と声を弾ませるひときは、子どもにとって一日の楽しみの一つとなっています。

今月は、全国各地の郷土菓子やご当地名物を紹介する「全国お菓子めぐり」の掲示が登場しました。地域の文化や歴史と食とのつながりを知ることと、「このお菓子はどんな味がするんだろう」「この地域ではなぜこの材料を使うのかな」といった、食への興味や探究心が広がっています。食育は、健やかな体をつくるだけでなく、地域の文化を学び、命や作ってくれた人への感謝の心を育む大切な教育です。これからも、子どもが食への関心を更に高められるような取組を進めてまいります。



「けやきルーム」で広がる豊かな学び

今年5月、校地内に待望の「けやきルーム」が完成しました。落成式典の様子は「はとの子だより」第5号に掲載しておりますが、子どもが自然や環境に直接触れ合い、五感を通して学びを深めるための拠点として授業で活用しております。



理科の授業では、子どもがヘチマの成長過程をじっくりと観察し、葉の形状、茎の伸び方や実などを細かく記録してまとめていました。教室の中だけでは気付くことができない変化を肌で感じることで、生命の不思議さや植物の生長に対する興味・関心がより一層高まっています。写真のように、けやきルームの窓からもヘチマを観察することができます。



また、社会科の授業では、ごみの処理やリサイクルを題材にした「ごみカルタ」を取り入れました。カーペット上にカルタを並べ、楽しみながらごみ出しのルールやごみ処理の仕組みを学び、自分たちの身近な暮らしと環境問題のつながりについて考えを深める良い機会となっております。

今後も「けやきルーム」を有効に活用し、子どもの観察力を磨き、環境を大切にする心を育む教育活動を推進してまいります。

日々の練習の成果が結実

本校「合唱部」と、本校の子どもが所属しているサッカークラブチーム「千秋インフィニート」が、日々の練習の成果を発揮し、優秀な成績を収めました。おめでとうございます。

先日、副校長室にて賞状を伝達しました。子どもの活動を支えてくださっている保護者の皆様、関係者の皆様、温かいご声援をありがとうございました。

<合唱部>

第93回NHK全国学校音楽コンクール

東北ブロックコンクール 小学生の部 「銅賞」

※当日の演奏は、9月26日(土)午前11時8分からNHK総合テレビ(東北地方向け)で放送されます。



<千秋インフィニート>

第17回美郷キッズサッカー大会 U10の部 「第3位」

